



旭川医科大学病院

卒後臨床研修センター通信

平成24年12月号
発行: 卒後臨床研修センター

センターの活動予定等

- ◆1月7日 研修医懇談会
- ◆1月16日、23日 プログラム説明会
- ◆1月下旬 卒後臨床研修センター通信1月号発行



【お知らせ】

①研修医懇談会を開催します

1月7日(月) 18:00から研修医室において懇談会を行います。研修医の皆さんは、センター長、副センター長に忌憚りの無いご意見をお聞かせください。

②プログラム説明会を開催します

下記の日程で臨床研修プログラムの説明会を開催します。質疑応答に時間をかけたいと思いますので、是非、本学研修プログラムへの要望や疑問点等をお聞かせください。

- * 1月16日(水) 17:30~ 臨床第3講義室 第4学年対象 ※対象学年以外の学生さんも興味のある方はご参加ください!!
- * 1月23日(水) 17:30~ 臨床第3講義室 第5学年対象

母校の紹介 第12回 解剖学講座機能形態学分野

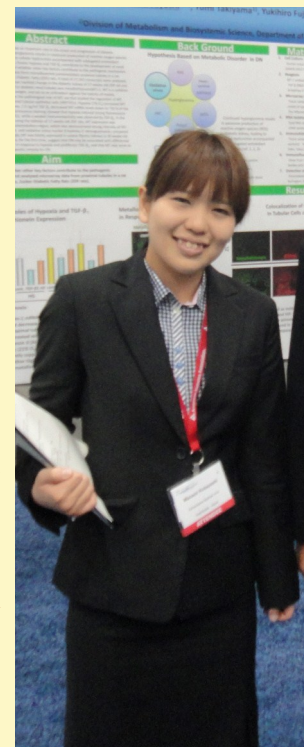
解剖学講座機能形態学分野は学部教育では主に肉眼解剖学を担当していますが、大学院教育と研究では神経系に関する研究を主に行っています。研究テーマは1. 脱髄の作用機序、2. 神経系における糖タンパク質の機能解明、3. 神経再生時におけるグリア細胞の機能解明です。現在の神経科学では病態時におけるグリア細胞の機能が注目されています。脱髄や軸索再生におけるグリア細胞の機能をいろいろな側面からアプローチしています。形態学の講座なので、様々な分子を染色し光学顕微鏡と電子顕微鏡で観察することはもちろん行っていますが、生化学的手法や分子生物学的手法、細胞生物学的手法に加え、行動学的な動物個体の観察も行います。臨床各科の大学院生として当講座で研究を行うこともあると思いますが、その際の研究テーマはご本人および、所属講座の指導者と話し合いで柔軟に決めています。また、研究手技などの技術的な点についてのご相談やもう一度解剖したいといったご要望にもできるだけ応じますので、お気軽にお尋ねください。



研修医体験談 第11回 小林愛実先生

こんにちは。旭川医科大学病院研修医一年目の、小林愛実です。ついこの間卒業したかと思えば、あっという間に再び雪の降る季節となりました。学生の時はぼんやりと想像することしかできなかった研修生活、その内容を私の視点から、ご紹介させていただきます。

現在まで、糖尿病内科⇒神経内科⇒膠原病内科⇒救命救急科をローテートしました。内科では生活習慣病や胃炎・腸炎、皮疹など多くのcommon diseaseに触れ、その対応を学びました。またステロイド内服中といった基礎疾患のある患者様への肺炎の治療など、一筋縄では行かない症例と奮闘したことで、本当に緊急事態かの線引きに、より敏感になりました。週1回のER当直、救急科では、交通外傷や意識障害など、重篤な容態にある方に対し、優先的にやらなければならないことはなにか、より強く考えるようになりました。手技としては、静脈採血はもちろん、動脈採血、内頸静脈からのCV挿入、気管挿管、縫合処置などを経験させていただきました。恐らく学生さんのなかには、『職員の多い大学病院より市中病院の方が経験できる症例が多くて惹かれる。』と思う方もいるでしょう。私が働いて得た印象としては、大差はないと思っています。新米の研修医はまず病棟の指示出しや、検査オーダーに慣れることが必要です。また輸液ひとつとってみても、In/Out balanceや尿量目標、電解質に適した組成など判断することは多くあります。そんな状況で多数の症例に触れたとしても、本当に自分のもののできる症例は、よほどキャパシティのある方でないと限られてしまうと思います。市中病院も様々ではありますが、自分の仕事のスタイルができるまでは、多くの先輩にご指導頂ける大学病院を選んで正解だったと感じています。



また私は研修医兼、第2内科に所属する大学院生です。5年生のポリクリ中に、糖尿病性腎症の研究に携わらせて頂き、国際学会で発表するという貴重な経験をさせていただきました。もともと研究に興味はあったのですが、これを契機に将来の科と、大学院へ行く意思が固まりました。今は大学院の授業を受けながら、研究に取り組んでいます。何人か、研究に興味がある学生さんが私のところを訪ねて来てくれました。第一号として、参考になればと思いますので、疑問や不安があればご連絡下さい。これから卒試や国試を控えている5,6年生ぜひ頑張ってください。皆様の将来が、幸多からんことを願って、いつか一緒に働ける日を楽しみにしています。

諸先輩の皆様、まだまだ未熟者ではありますが、精一杯尽力致しますので、今後ともご指導、御鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

【お問い合わせ先】 旭川医科大学病院 卒後臨床研修センター
〒078-8510 北海道旭川市緑が丘東2条1丁目1-1
TEL:0166-68-2198 FAX:0166-68-2199
E-mail: sotsugo@jim.u-asahikawa.ac.jp
<http://www.jimu.asahikawa-med.ac.jp/shomu/sotsugo/>

※ホームページもご覧ください